

2020

かごしま国体・大会をオール鹿児島で盛り上げよう

～子どもたちの記憶に残る両大会へ～

第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催まであと1年を切りました。県民の皆さん、48年ぶりの開催となるかごしま国体、初めての開催となるかごしま大会の成功に向けて、心を一つに、オール鹿児島で盛り上げていきましょう!

あの感動を再び 48年ぶりの鹿児島開催!

昭和47年に開催された太陽国体

本県勢が天皇杯・皇后杯[※]を獲得する快挙を達成!

※天皇杯:男女総合優勝、皇后杯:女子総合優勝

10月22日から27日まで開催された太陽国体(第27回国民体育大会)で、本県勢は軟式テニス史上初の完全優勝などにより、天皇杯・皇后杯を獲得。県全体が歓喜に沸きました。

この時の天皇杯・皇后杯の獲得と大会の成功はその後の県勢の発展につながりました。東京オリンピック・パラリンピックの年に開催されるかごしま国体・大会は、鹿児島をさらに飛躍させるチャンスです。



開会式における本県選手団の堂々の入場行進と選手宣誓
(県立鴨池陸上競技場、現「白波スタジアム」)

かごしま国体・大会の日程

延べ80万人が参加するビッグイベント!

2020 燃ゆる感動

かごしま国体 10月3日▶10月13日
かごしま大会 10月24日▶10月26日

茨城国体(令和元年9月28日~10月8日)の結果

本県勢が活躍! 来年への期待が高まります!

優勝 8競技 9種目
(水球・弓道・フェンシングなど)

入賞 25競技95種目

男女総合成績 **15位**

女子総合成績 **12位**



水球で優勝した鹿児島南高校(赤キャップ側)

※第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」は、台風の影響で全日程が中止となりました。

かごしま国体・大会に参加してみませんか

◆ボランティア募集中!

両大会の開・閉会式などで運営を補助するボランティアを募集しています。

募集人員 運営ボランティア 5,200人
※2020年4月1日現在で中学生以上の方ならどなたでも参加できます。



ボランティアによる案内



応募はこちら

◆募金へのご協力をお願いします

来場者をお迎えするおもてなし、花いっぱい運動、ボランティアの募集・育成・活動支援などに活用します。

※募金額から2,000円を差し引いた金額が、所得税などの寄付金控除の対象となります。



花いっぱい運動



手続きはこちら

県民参加の 炬火リレーを行います

期間 令和2年8月11日~31日
(夏休み期間)

全市町村を巡る
薩摩・大隅・離島の
3コース

炬火トーチ

炬火受皿

炬火トーチを持ったランナーが
県内各地をつなぎます!

※詳しくは、決定次第、発表します。

詳細はこちらを
チェック!

ホームページ



フェイスブック



ツイッター



インスタグラム



燃ゆる感動

検索

問い合わせ先

県庁国体・全国障害者スポーツ大会局総務企画課 ☎099(286)2874 FAX 099(286)5553

北朝鮮による拉致問題の解決に向けて

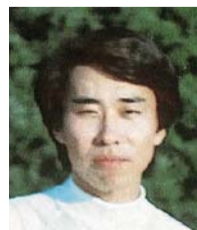
北朝鮮による拉致問題の一刻も早い解決には、それを願う県民の皆さま一人ひとりの声は何より強い力となり、被害者ご本人とご家族の大きな心の支えとなります。皆さまのご理解と温かいご支援をお願いします。

本県に関する拉致被害者の方々

今から41年前の昭和53年8月、市川修一さんと増元るみ子さんは日置市の吹上浜海岸で北朝鮮に拉致され、いまだ帰国を果たしていません。

政府が認定している拉致被害者17人のうち、12人の方は北朝鮮に残されたままです。

他にも、拉致の可能性が疑われる行方不明の方が存在し、その中には本県関係者も含まれています。



いちかわ しゅういち
市川 修一さん
(当時23歳)



ますもと
増元 るみ子さん
(当時24歳)

拉致被害者ご家族からのメッセージ

家族も高齢化し、一日も早く被害者を取り戻さなければなりません。拉致被害者全員の即時一括帰国の為に拉致問題に関心を持ち続け、私達家族の力となってください。

市川 健一 (市川 修一さんの兄)

12月10日~16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です

この週間を中心に県内各地でパネル展を開催します。詳しくは、県ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

鹿児島県 拉致問題

検索

問い合わせ先

県庁社会福祉課 ☎099(286)2828 FAX 099(286)5568